

## 平成27年度第6回中原区区民会議

日時 平成27年10月29日（木）14時～

場所 中原区役所 5階503会議室

1 開催日時 平成27年10月29日(木)午後2時～4時

2 開催場所 中原区役所5階503会議室

3 出席者

(委員)板倉委員長、橋本副委員長、成田副委員長、石川委員、井上委員、岩崎委員、梅原委員、尾木委員、梶川委員、園部委員、田中委員、塚本委員、長尾委員、仲亀委員、中森委員、仁上委員、萩原委員、松本委員、山崎委員

(参与)押本参与、重富参与、吉岡参与、君嶋参与

(事務局)鈴木区長、小野副区長、鈴木課長、岩瀬担当部長、永山部長、大塚所長、蛭名副所長、南室長、高津所長、寺澤課長、村田担当課長

企画課：江口係長、塚本係長、大崎職員、澤村職員、西山職員

4 議題 (1)第5・6回課題調査部会及び第5回運営部会報告(公開)

(2)審議テーマ「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」について(公開)

(3)その他(公開)

5 傍聴者 なし

6 会議内容

午後1時58分 開 会

## 1 開会

**司会** 皆さん、こんにちは。定刻より少し早めですが、委員の皆様方、おそろいになりましたので、ただいまから第5期第6回中原区区民会議を開催いたします。私は、本日の会議の議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきます副区長の小野でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は過半数の委員に御出席をいただいておりますので、川崎市区民会議条例第6条第2項の規定により、本会議が成立しておりますことを御報告申し上げます。

なお、本日の会議は会議公開条例に基づき公開で行われます。また、会議録を作成し、公開することとなりますので御了承いただきたいと思います。

なお、本日は、反町委員が所用により欠席との御連絡をいただいております。

また、参与の皆さんですが、市古参与、大庭参与、川島参与、末永参与、松井参与、松原参与、川本参与、滝田参与につきましては、所用により欠席との御連絡をいただいております。

それでは初めに、中原区長の鈴木より御挨拶を申し上げます。

**区長** 皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中をお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。今回は第6回でございます。また、参与の方々にも御参加をいただきまして本当にありがとうございます。

最初に、先だつての10月18日（日）に、なかはら“ゆめ”区民祭が開催されまして、天候に大変恵まれ、無事に終えることができました。この区民会議に御出席の委員の皆様方には、当日「等々力ピカ美化大作戦!! ～スタジアムをキレイにするのは君だ～」と題してブースを張っていただき、川崎フロンターレ中原アシストクラブの方々、専修大学のインターンシップの学生さんなどの皆さんの御協力を得ながら、いわゆるごみの分別を題材としたゲームをしていただき、大変好評をいただきました。全体来場者は警察署とも相談の上いつも発表しておりますが、当日は3万5,000人の来場者があったということです。私には、もう少し多くの方がお越しいただいたのではないかなと感じましたけれども、大変和やかに、楽しく区民祭ができたことを改めて感謝申し上げたいと存じます。

本日の区民会議におきましては、今期区民会議の2つ目の審議テーマとなっております「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」に関する課題や解決の方向などについて、これまで各部会で検討していただいております内容のいわば中間報告をいただきまして、さらに、今後の方向性などを踏まえて議論いただくことになっております。また、これまで部会などをはじめといたしまして、真摯なる議論をしていただきましたことにつきまして、改めて感謝申し上げます。

また、今後ですけれども、次回の区民会議につきましては、取組の提案ですとか、一定の結論をいただくことになっておりますので、本日は委員の皆様の活発な御意見をお願いしたいと存じます。

結びになりますけれども、このところ、急に寒い日があったり、暖かい日があったり、天候不順といったこともございますが、皆様におかれましても、どうぞ健康にはくれぐれも御留意いただきますようお願いいたしまして、簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。

## 2 新委員自己紹介

**司会** それでは続きまして、議事に入ります前に、まず委員の変更につきまして御報告をさせていただきます。

平成27年7月末をもって、川崎地域連合・中原地区連合から選出の松澤委員が当該連合から退任をされまして、代わりまして、8月1日から新たに当該連合に就任をされました岩崎さんが委員となられましたことをここに報告させていただきます。

それでは、岩崎委員から御挨拶をお願いいたします。

**岩崎委員** 岩崎貴志と申します。このたび、御紹介いただいたとおり、中原地区連合の事務局長を8月1日から仰せつかりまして、現在、勤務しております。中原区内で私の団体はNECでして、武蔵小杉のNEC玉川事業場で勤務しております。そちらで区民の皆様と協調しながら、きちんと意見等を述べていければと思っております。よろしくお願いい

たします。

**司会** 岩崎委員、ありがとうございます。どうぞこれからよろしく願いいたします。

それでは続きまして、事務局より、本日の資料の確認をさせていただきます。

**事務局** それでは、本日のお手元の資料の確認をさせていただきたいと思います。

まず1枚目に、本日、第6回区民会議の次第がございます。

おめくりいただきまして、別紙1で本日の席次表になります。続いて、別紙2、委員、参与の名簿になります。

次からが資料でして、資料1といたしまして、「課題解決に資する提案等まとめ（経過報告）」の資料でございます。この資料はA3版の1枚の資料になっております。続きまして、資料2「自転車（交通）マナー・ルールに関する取組事例について」でして、A3版で両面印刷になっております。続きまして、資料3、「第5期中原区区民会議スケジュール（案）」になります。こちらもA3版1枚の資料でございます。続きまして、資料4「平成26年度『中原区地域課題対応事業』実施結果一覧表」でございます。こちらもA3版の両面印刷となっております。

また、参考資料がございまして、参考資料1-1は、第5回課題調査部会会議録、参考資料1-2は、第6回課題調査部会会議録でございます。続きまして、参考資料2は、第5回運営部会会議録（案）でございます。参考資料3はA4版、1枚でして、表題は「『地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに』取組提案の進捗状況」という資料でございます。続きまして、参考資料4「なかはら区民会議だより第25号」と、参考資料5「平成27年度区民会議交流会について（案）」でございます。こちらはA4版で2枚となっております。左上にホチキス留めしているものでございます。

最後に、「なかはら一斉クリーンアップ大作戦」のチラシを皆様のお手元に置かせていただいております。

資料につきましては以上でございます。

**司会** ただいまお手元の資料について確認をさせていただきましたが、皆様、資料の過不足等いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ここからの進行は委員長にお任せしたいと存じます。委員長、どうぞよろしく願いいたします。

**板倉委員長** それでは、ここからの進行は私がさせていただきます。よろしく願いいたします。先程、区長から御挨拶ありましたように、秋も深まり、紅葉の季節となりましたが、昨日は夏日、本日はこのような涼しい状況と、非常に寒暖の差が厳しくなっております。皆様、体に気をつけていただきながら、これからも進めていきたいと思っております。

なお、本日の審議内容は少し多くなっておりますので、御協力をよろしく願いいたします。

### 3 会議録確認委員の選任

**板倉委員長** まず、会議録確認委員の選任を行います。前回は田中委員と反町委員にお願いいたしましたので、名簿の順ということで、園部委員と梶川委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。よろしくお願いいたします。

### 4 議題

#### (1) 第5・6回課題調査部会及び第5回運営部会報告

#### (2) 審議テーマ「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」について

**板倉委員長** それでは、議題の審議を進めていきます。

まず初めに、第5・6回課題調査部会及び第5回運営部会報告を受けて、本日の審議テーマである「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」について審議を行っていただきたいと思います。

課題調査部会は、8月3日、9月2日に審議テーマ「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」ということで、課題解決に向けて取組案を検討していただきました。まずは、その課題調査部会の検討結果について、課題調査部会部会長の成田副委員長に御報告をお願いしたいと思います。できる限り詳しく説明していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

**成田副委員長** それでは早速、課題調査部会報告を行いたいと思います。内容が盛りだくさんになりますが、できるだけスピーディーに報告させていただきたいと思います。

まず、8月3日（月）、9月2日（水）の両日、部会員9名のうち8名の出席（各回1名欠席）で第5回及び第6回課題調査部会を開催いたしました。

最初に、第5回部会で部会長、副部会長の選任を行いまして、部会長に私、成田、副部会長に反町委員が選任されました。というところで、早速資料1を御覧いただきたいと思っています。

まず、第5回部会におきまして、前回7月2日に行われました区民会議の全体会議における意見や、また、別途資料を参考にしまして、課題調査部会の委員から提出された審議テーマに関連する意見などの整理を行いました。それを踏まえまして、課題と現状の把握、情報共有を行い、目標の設定、狙い、ターゲットの絞り込みについての審議を行いました。その審議内容についてまとめましたのが資料1の一番左側になります。第5回部会の審議における部会委員の意見をまとめました結果、まず、課題としましては、最初に「自転車に起因する交通事故」「ルール」、3番目に「マナー」、4番目に「環境の未整備」、以上の4つの課題分野にそれぞれ分けられました。

次に、それぞれの分野についてですが、まず、最初の「自転車に起因する交通事故」についてですが、この分野における課題・発生箇所として、信号無視や自転車の運転スピー

ドの出し過ぎといった自転車危険運転・違反運転、また、未成年者の自転車による交通事故や、その被害者に対する多額の賠償金などが問題となっていますことから、交通事故の増加・深刻化について多くの意見がありました。その解決の方向性、取組の例や案などとしましては、まず、各地域や学校等でもなじみのある交通安全教室や交通安全活動の広報強化、既存の取組の周知・徹底、T Sマーク活用案内や自転車保険を学校のP T Aなどを通じて加入を進めることなどといった自転車保険への加入の奨励や促進、重大な交通事故事例を広く周知していくなどの事件事例等の広報などといった提案がされました。

次に、2番目の「ルール」についてですが、まず、ルールそのものについて検討しまして、ルールは一般的に道路交通法などの法令や、それを守らないことによって警察の取締りを受けるものと考え、このルールを守らない原因としましては、危険や不便の回避、また、ルール自体を軽視したり、無意識であることなどが挙げられました。この部分における課題・発生箇所として、特に買物客等の一時利用者の路上駐輪の問題から、既存の駐輪場の利用の促進を図ること、また、車道を走行するに当たって、自動車、自転車双方の運転者も安全に走行できるよう自転車が安全・安心通行できる環境づくりなどの意見が出されました。また、道路の歩道・点字ブロック上などにあります自転車の路上駐輪、さらに、商店街などで見られる歩道を占拠したり通行の妨げとなっている路上陳列などの意見が挙げられました。また、携帯電話やスマートフォンを操作しながらの自転車運転や傘を差しての運転などに見られます、いわゆる「ながら運転」、また、そもそも自転車は本来軽車両ですが、それを軽車両と認識していない人が多く見られることから、ルールの周知・認知の拡大についての意見もありました。これらの課題等についての解決の方向性、取組の例や案としまして、その主な対応策としては、まず、ルールの徹底や周知をしていくことが必要であると考えました。

まず初めに、駐輪場の利用の促進につきましては、駐輪場の整備・拡大を図ることや路上駐輪が問題となっている箇所を多世代参加型のワークショップ形式で抽出し、具体的にしていくことから、課題箇所の抽出・分析・マップづくりなどが挙げられました。

2番目、路上駐輪、路上陳列につきましては、花壇、ガードポール等設置による駐輪防止などの提案がありました。第3のルールの周知・認知の拡大につきましては、各地域や学校でもなじみのあります交通安全教室や既存の交通安全活動の浸透・広報強化を図ること、また、老人会などを活用した高齢者自転車安全教室の実施が提案され、さらに、川崎市では小学校3年生の交通安全教室で自転車の乗り方講習後に配布されます自転車安全運転者証や、ボーイスカウトにおける取組としまして講習後に発行される自転車の証明書を活用し、商店街との連携を検討するといった提案がありました。

次に「マナー」についてですが、これはルールと同様にマナーそのものについて検討し、マナーはルールとは異なり、思いやりや譲り合い、相互理解に基づく社会における常識と考え、このマナーを守らない原因としては、危険や不便の回避、自己中心的な理由や

無意識であることなどが挙げられました。この分野における課題・発生箇所としては、保護者、大人、中学、高校生を対象として、自転車の並列通行や他者との衝突に対する舌打ち行為などといった通行マナー、携帯電話やスマートフォンを操作しながらの歩行、ベビーカーを押しての歩行といった“ながらスマホ”、通勤時や保育園の送迎時に過度なスピードを出しての運転や並んで歩行するなど、他の歩行者の歩行を妨げるといった自転車のマナー、ベビーカーのマナー、通勤・通学時の混雑・危険運転等、マナーを“知らない”人・子どもなどが挙げられました。

これらの課題等についての解決の方向性、取組の例や案などとしまして、その主な対応策としましては、まず、マナーの啓発や普及に努めていくことが必要であると考えました。保育園・幼稚園参観日等、家庭教育学校の機会を通じて、自転車マナー教室の開催や中高校生に向けた案としてSNS等を活用したアピールをすること、乳幼児健診などの機会を利用したベビーカーのマナー用パンフレットの作成、配布、マナー喚起看板の設置や啓発標語の選定と活用といったことが提案されました。

最後に、4番目として「環境の未整備」につきましては、道路上の自転車通行帯表示の断絶や不明瞭さ、障害者や高齢者などに優しい安全・安心な歩道の確保が必要であるとの視点から、これらの課題・発生箇所についての解決の方向性、取組の例や案などとして、自転車通行帯・案内等の整備・充実、循環型ミニバスの検討といった意見がありました。

以上が第5回部会における検討状況の報告となります。

続きまして、9月2日に開催されました第6回部会においては、第5回部会の議論を踏まえて、現状把握の補強に努め、引き続き、課題解決に向けた取組、提案などの検討を行いました。こちらにつきましては資料1の右側を御覧ください。第6回部会では、それぞれの課題に対する解決の方向性や取組例、また、案について、意見の補強、また、より細かい検討を行いました。

そこでまず、既存の取組の周知・徹底についてですが、まず、スタントマンにより交通事故を再現し、恐怖を実感することで、自転車の乗り方といったルールとマナーの大切さを学び、また、事故につながる危険行為を未然に防ぐための教育手法でありますスクアードストレート方式の交通安全教室実施の拡大や既存イベントでのステージ・展示を活用したり、これは一例ですが、例えば3月19日を語呂合わせとしまして「サイクルの日」としてイベントを実施し、そのイベントにおいて自転車販売業者等と連携して、自転車の整備指導・保険加入奨励等をするといった提案がありました。また、駐輪場の整備、拡大につきましては、茅ヶ崎市事例の軒下駐輪場などの事例について、既存の交通安全活動の浸透・広報強化につきましては、区民会議委員による広報活動や、さらに、啓発資料の作成・活用、また、バス車内啓発アナウンスなどの提案がありました。最後に、循環型ミニバスの検討としましては、コミュニティ・循環バスについては、実施手順や事例などから確認していくなどの提案がありました。今後、第7回部会の審議におきまして、課題解決

に向けた取組、提案などの検討を推し進めまして、さらに、取組内容や担い手、役割分担や進め方などについてまとめ、第8回部会の最終的取りまとめへと続いていきますけれども、9月29日に開催されました運営部会では、これまでの2回の課題調査部会における審議内容について、また、今後の部会における取組や議論の方向性などについて、本日のこの全体会議でどのような議論をしていただくかといった視点からいろいろな御意見をいただきました。

したがいまして、本日の全体会議の審議におかれましても、今後の部会の審議を進めていく上で、議論の焦点や視点をどこに置くかということについてぜひ御意見をいただければと思っております。

この2つの会議の詳細の審議内容につきましては、参考資料1と2の会議録で御確認いただけますので、後ほど御覧いただきますようお願いいたします。

なお、先ほど御説明いたしました、スクエアストレート方式の交通安全教室について、来年（平成28年）1月15日（金）の午後2時から、市内の西中原中学校で、全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）が主催し、神奈川県警察本部の共催により実施されます。こちらは一般には公開されない予定ですが、区民会議委員の皆様の中で見学の御希望がございましたら、後日事務局から確認がありますので、見学希望の旨をお知らせいただければと思います。

長くなりましたが、以上で課題調査部会の審議の報告を終わります。

**板倉委員長** 課題調査部会の検討結果について御報告いただきました。

次に、9月29日に開催しました第5回運営部会の検討内容について、運営部会副会長である本副委員長から御報告いただきたいと思います。よろしく申し上げます。

**本副委員長** それでは、第5回運営部会につきまして御報告いたします。9月29日に、7名の委員のうち6名（1名欠席）の出席で部会を開催いたしました。

最初に、課題調査部会長である成田副委員長から課題調査部会の検討結果を報告していただき、検討内容を確認いたしました。

先ほど成田副委員長から詳細な御報告がございましたように、第5回及び第6回の課題調査部会では、具体的な課題や取組案などについて議論が行われましたので、運営部会においては、課題調査部会による取組案などの検討内容について個別具体的な意見を言うていただくのではなくて、課題調査部会における今後の検討方向等につきまして、また、本日の全体会議でどのように審議していただくかというようなことを中心に検討いたしました。

それでは、先ほども説明がありました、資料1「課題解決に資する提案等まとめ（経過報告）」の右側を御覧いただきたいと思います。こちらは、第5回、第6回課題調査部会で検討していただいた際の主な意見などをもとにしまして、さらに運営部会の審議において発言いただいた御意見などを加えまして、審議経過をお示ししたものでございます。

まず、資料左上段を御覧いただきたいと思います。ここに中原区の特徴を示しております。運営部会では「日常生活に自転車が切り離せない」「多様な区民の存在」「短時間利用（買物など）の自転車（駐輪）対策が課題」といった区の特徴を踏まえまして、今回の審議テーマである「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」そのものについて再確認をいたしました。

次に、資料右上段の検討のポイントであります区民会議の取組としてどうかという意義や妥当性の観点などから、また、実現（可能）性や緊急性・優先性などの観点からも、現状の審議の視点や方向性についてはどうか、不足している視点や考慮すべき事項はないかなどについて、本日の全体会議で議論していただくことが必要ではないかということを中心に検討させていただきました。

主として、提案の具体化に向けまして、検討の方向性に関する助言や意見が出されまして、自転車に関する各事業や啓発活動などの方向性について、既存の取組や活動の強化にとどまらず、中原区のオリジナリティを出した取組とすべきではないかといった意見や、ベビーカーと自転車のマナーを合わせた資料は中原区らしいといった御意見などもありました。さらに、イベントの対象者につきましては、子どもだけではなく、多くの人が集まるイベントなどで親子や大人世代を対象とすることや高齢者こそ対象とすべきではないかといった意見もございました。具体的な取組について、例えば既存の自転車安全運転者証の活用について、名称や仕組み等の検討をしていくことは必要ではないかといったような意見もありました。

そのほかに「環境の未整備」項目としてのコミュニティ・循環バスの検討について、区民会議の提案として取り組むことは難しいが、その要望に関する働きかけは必要であって、その意見や状況等を整理し、報告書に記録していくことが必要といった意見もございました。最終的には、これらの部会において検討結果を踏まえ、本日の会議に諮ることで了承いたしました。今後引き続き、第7回、第8回課題調査部会において、具体的に取り組む提案についての議論をしていただいた上で、1月には、おおむね取組、提案内容を決定していただきますので、本日は今後の議論の方向性や視点について、また、区民会議の提案する取組として、さらに、実現性や実行する効果を高めるアイデア、手法などについて、皆様からアドバイスや御意見等をいただき、今後の課題調査部会でさらに深い審議を進めていただきたいと思いますと考えております。

なお、会議の詳細な審議内容につきましては、参考資料2の会議録で併せて御確認をいただければと思います。

私からの説明は以上でございます。ありがとうございました。

**板倉委員長** 課題調査部会、運営部会両部会の検討結果を報告していただきました。見てのとおり、対象の範囲が非常に広いということもございますが、それぞれ検討を進めていきたいと思っています。今回の検討結果は11月11日の第7回課題調査部会に反映するとい

うことで考えておりますので、審議の方向性、視点についてはそういうところを御考慮いただきながら御意見をいただきたいと思いますと思っております。

それではまず、御意見、御質問などございましたらお願いします。

では、内容も大変多く、複雑な内容もあると思っておりますので、順番に御意見をお聞きしたいと思えます。

**山崎委員** 課題調査部会でいろいろと意見を交換させていただいていますが、本当に範囲が広いので、私自身もどうしたらいいのか分からないというか、何をどうしようかというところには、まだ具体的には頭の中にも入ってきてはいないわけですが、運営部会で色々御意見をいただいた中で、例えば毎月20日を二輪の日とするキャンペーンなどについては、どのような具体化ができるのかなというようにここでお話をお聞きしたいと思えますし、警察署とか自転車業者との連携についてはどのように進めていけばよいかということも少しお聞きしたいと思えます。それはまた、課題調査部会で考えてくださいといった御意見もあるのかもしれませんが、ここで皆さんと意見交換できたらいいなと思えます。自転車が悪いとか、乗らないとかではないということもまず、一番に考えていきたいなというのがあります。誰が悪いのではなくて、まち全体が動きやすい、歩きやすいまちになるようにできたらなというのが課題調査部会の中でも基本的な考えとしてあるのではないかなと思えますので、私はそのことを大事に考えたいなと思えます。

**板倉委員長** 今、山崎委員からテーマそのものの内容について、御説明と御指摘をいただきましたので、皆さんも御意見があるようでしたら、補足するような形で出していただくとありがたいなと思えます。

**松本委員** 課題にはルールとマナーということがあるかと思えます。まず、社会福祉協議会では子育てサロンというのを民生委員と協働してやっております。そこで、子育てのお母さん方がお見えになったときに、今後、ルールとかマナーを周知して理解していただくようにしていければと思えます。

また、毎月20日を“二輪車の日”とする、自転車、バイクも二輪車ですが、区民会議で“二輪車の日”の設定をし、あるいは、春と秋、暮れにもある交通安全週間を活用するなど、現在、各小学校の通学時にPTAと協働して四辻に立って見守り・挨拶運動をしていますので、その期間だけまずやってみて、その期間終了後に各小学校で反省会をやるといった取組がいいと思えます。下小田中小学校で見守り・挨拶運動、恐らく、他の学校でもやられていると思えますが、このような取組で、回を重ねていくと、子どもたちもちゃんと挨拶をしてくれるし、マナーを少しずつ身に付けられると思えます。どんな課題もそれぞれ意見を言うことで、1つずつ、少しずつ改善されるということがあります。少しずつ小さな芽を育てるように、例えば“二輪車の日”という形にして、小学校の通学の時間帯を利用して、小学校だと午前8時20分、25分ぐらいまでには学校に着いておかないと

いけないので、大体午前7時50分から30分ぐらいでしょうか、その中でPTAと協力して四辻に出て、その時間だけまずやってみる。活動後に反省会なんかを開いていると案を出して、区民会議提案として、PTAと区民会議が協働してやっていけば少しずつマナーの浸透などの底上げが図れると思います。この時間帯には通勤の方もいます。お母さん方も通ります。ですから、少しずつマナーを周知し、ルールも覚えていただく、浸透させるという形でいったらどうかという提案をいたします。

**萩原委員** 前回の運営部会で、梅原委員から発言があった、ボーイスカウトで発行している自転車安全運転者証というのがとてもいいねという話になって、ぜひこれを中原区でも出せないかということがありましたので、中原警察署の交通課長様に、区民会議でこんな意見があったといった話をしたら、大変乗り気で、あっ、それはとてもいいね、と言われましたので、ああ、そうなんだなと思ひまして、先日の区民祭のときにも新しい署長様にもその話題をしてみても、そんな意見が挙がっていますがどうですかとお話ししたら、とても前向きでいらして、改めて話を持ってきてくれれば、証明書の表示やこういうやり方があるとか、中原警察署としてその話に乗ることもできるといったお話もありました。あと、運営部会でも同様のお話がありましたので、交通安全協会さんですとか、いろいろな警察の諸団体があるんですね。日常いろいろな交通安全の啓発活動を地道にやっているコミュニティ活動をされている団体がたくさんありますので、そういった団体などにも声を掛けてみるものいいかもしれません。

たまたま交通安全協会の会長さんにも、どうでしょうかと、同じような話をした際に、とてもおもしろいとおっしゃっていただいて、イベントをやっても、なかなか人が集まらなかつたり、お金だけかかってしまつたりしているので、何かそういう1つみんなのできるもの、そういうものがあれば他の団体にも声を掛けられるので、例えば、自転車の協会の方々も一緒に取り組んでくだされば、自転車もちちゃんと修理をして、余りにひどくなったら新しい自転車に買い替えなければならないし、また、きちんと保険にも入っていただきたいということも含めて、保険会社さんにも声を掛けられます。ぜひみんなで取り組むといいねという機運は結構盛り上がってきておりますので、できれば課題調査部会の委員の皆さんで動いていただければ、できる範囲でどんどん実現していきそうな雰囲気があるので、お願いしたいなと思ひています。1回でも、2回でも、どこかでイベントができればと思ひています。交通安全協会でもそういう指導をする方々はたくさんいらっしゃるそうなので、ただ、指導する上では中原警察署のサポートがないとなかなか難しいようですけれども。一部の道路を一時利用禁止して、その道路で実際にやったりすることもあるということも聞きましたので、いろいろな方法があるかと思ひますので、これから詰めていって、ぜひ実現できればすてきかなと思ひています。

**板倉委員長** 少し具体化したという感じがしますので、御協力をお願いします。

**仁上委員** 私も区役所に来るのに自転車を利用しております。以前と明らかに違ってきた

などと思うのは、駐輪場の整備です。以前は区役所の玄関、入り口の前に自転車をただ置くだけの場所があって、そこへ立てかけるのに非常に面倒な思いをする。特に風の強い日なんていうのは将棋倒しになっていて、倒れていたという経験は何度もしていますが、おかげさまで最近是非常に立派な駐輪場ができて、そこへ止めておくと、非常に安心していられるし、出し入れが簡単である。

そうしたことを考えると、いろいろな問題点、取組の例や案が出ていますが、全てができればそれにこしたことはないんですけども、大きな予算がかかるもの、低予算でできるものをしっかりと分ける。大きな予算のかかるものは、いずれ行政に、あるいはある大きな団体に任せるとかということによろしいと思うんです。まず、低予算でできるもの。この中にも書いてありますけれども、保育園、幼稚園、あるいは学校のPTAだとか地区の町内会、いろいろな団体があるんですけども、そういったところに対しての啓蒙というか、パンフレット、あるいは教室を開くということを中心に考えていったらよろしいのではないかなという気がいたします。

**中森委員** 今回のテーマについて、多くの意見が出て、確かにいろいろな団体などもこれに取り組んでいるのを見ているので、区民会議として、できるだけ団体などと連携をとって、まだやっていないことや改善できることなどを区民会議に声掛けして、それを改善できるようにしていくのが大事ではないかなと思っています。特に警察署等の連携はとても大事だと思います。そこでもいろいろやってくれているので、もっともっと区民全体に広がるようにしていただけるとありがたいと思っています。特にポスターとかパンフレットなどの作成となっていますが、できるだけ幅広い範囲で伝わるように、外国籍の方にもできるだけ伝わるようにしてほしいので、全ての言語で訳すのは現時点では難しいので、せめてちょっと平易にというか、イラストつきで、漢字はできるだけルビ振りしてもらおうと、それだけで大分皆さんも読みやすくなります。そういうふうにすると、あまりお金をかけなくても何とかいろいろな方に伝わるのではないかなと思っています。

**長尾委員** 今、中森委員のおっしゃられたことにも関係がありますが、外国籍の方に分かるような広報物というのは、子どもにも分かりますし、イラストか何かありますと、みんな興味を持って見ると思いますので、すごくいいことだなと感じました。

私が一番簡単で効果が上がりそうだなと思うのは、ルールやマナーを御存じない方にお知らせすることだと思います。知らないから守れないだけで、知れば守れるのではないかなと思いますので、すごく簡単に効果が上がる方法としてポスターとかパンフレットなどで、どなたにでも分かるようなものを作って配布するとよいかと思っています。

**仲亀委員** 私の場合、範囲が狭くなりますが、商店街なら商店街に駐輪場を備えれば、そこへ必ず自転車とかベビーカーは置いて、買物の目的地へ行くというような形をとっていただくという、マナーといいますか、そういうものを1人1人の方たちが心掛けられるような形に持っていったらいいのではないかなと思います。結局歩いていて、ここに自転車が

止まっていて危ないとか、ベビーカーを置きっ放しで危ないとか、そのようなことが私自身の経験から考えたときには一番怖いですね。だから、商店街などの駐輪場の確保というのか、例えば平間にある、とある店舗の場合は、その前が全部駐輪場として整備されて、絶えず警備員さんが自転車の整理に来ているような状態なのでいつ行ってもきちんとなっていますし、止められるところはここだと一見して分かるようになっていますので、商店街でも、入り口とか、真ん中なら真ん中であつたらいいのではないかと、歩道とかやたらに止めない形になるのではないかなと思います。

**塚本委員** 中原区で暮らしていくには、自転車の問題というのは、便利に暮らす、安心・安全に暮らすというのに非常に身近で、切っても切り離せないテーマなので、今後ぜひ会議で取り上げるのはいいと思っていて、NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメントとしても、誰かがやってくれることではなくて、住民1人1人の意識に関わっている問題なのだと、何をやるにしても御協力をしていきたいと思っております。

毎度ながら、こういう身近な課題であるからこそ課題も多いし、やらなければいけないこともたくさん出てくるんですけども、それをどうやってまとめて絞っていくかというのは非常に難しい話で、そんなに多くのことはできないわけです。中原区でいうと、こういった自転車問題というのはずっと長く取り組んでこられた問題だと思うので、今までの取組事例なんかも含めて、長年やってきて、解決できつつある問題、長年やってきているけれども、解決できない問題、時代とともに今、新しく出てきている問題、さらに商業施設が増えたとか、子どもが増えたとかいった、カテゴリー分けを、時系列というか、今なぜこれに取り組むのかということになるべく住民の皆さんにそうだよねと納得できるものに絞っていただいて、だからこそ、住民みんなでやろうよというようなことに絞れていけるといいなと思っていまして、何をやるにしても協力しますので頑張りましょう。

**田中委員** 朝の学校の子どもたちに挨拶をしながら指導するという話が先ほど松本さんからありましたけれども、私の町会も中学校、小学校ともに、特に中学校は挨拶運動を盛んにやっております。私、自分の家の前の道は、片方に小学校へ続く、反対側に中学校へ続く通学路になっていまして、朝、立っていて、挨拶をしながら、子どもには自動車が来たときとか、自転車も結構飛ばしている人がいるので、注意なさいよとか、そういう声掛けを長年やらせていただいておりますが、交通安全教室でももちろん結構ですけど、自然な形で教えるのもいいのかなという感じがします。

もう1つ、実は昨日の話ですけども、丁字型の道路で信号待ちをしていましたら、知り合いが通ったもので、その人に話しかけられてその場で立ち話をしていました。すると、前のほうからお母さんと、お子さんが自転車でやってきて、お母さんが先に渡って、お子さんが後でした。親子の間は約3メートル離れていたと思います。そのお母さん、信号が変わるので、慌てて道路を横断しました。あっと思っていたら、お子さんは赤できちんと止まりました。止まったときに、そのお子さんの顔を見ましたが、非常に真剣に信号

を見ていました。低学年、大体2年生くらいでしょうか。すると、そのお母さん、横断して大分先に進んでから子どもの元に戻ってきて、ああ、そうか、僕、止まったんだねと言っていました。これはいい教育だと思います。失礼な言い方かもしれませんが、お母さんたちの自転車での信号無視を街中で多くお見かけします。そのせいか、昨日それを目にしたときに、このお母さんは偉いなと思いました。その子どもは何げなく、ちゃんと赤信号の前で止まって青信号で動きました。子どもは、お母さんが行ってしまった、だから追いかけてしまうのが普通だと思いますが、昨日見たのは、非常にいい光景だったと思っています。

また、私は、西加瀬いこいの家の運営に携わっておりまして、明日13時から高齢者を対象とした講習会ですが、よく老人ばかりと言われますが、講話と実地ということで中原警察署から来ていただき、講習を行うことになっています。西加瀬いこいの家だけではもったいないので、他方面にもお知らせして40名ぐらいの参加を予定していましたが28名の申込みがありました。高齢者も自転車に乗る、足が弱いから自転車に乗ることがやはり非常に多いので、そんな理由からも、明日は有意義な講習会にしたいと考えております。

以上でございます。ありがとうございました。

**園部委員** 私、最近よく利用しているスーパーがございまして、はたと気がつきましたら、自転車を置く駐輪の、区役所でも使っているような駐輪場ができていました。ガチャっと入れると必ず止まって、精算する。費用はかからないんですが、精算するところに行って解除しないと使えなくなって、少し不便だなと思ったんです。ところが、不便だなと思ったけれど、皆さんはそれをきちんと守っていらっしゃるんです。そうすると、自転車の台数が以前よりは少なくなっているはずですが、そこは今時間行っても止められないかなとか、御自分で皆さん考えられて、うまい具合に規制があるとそれに従っていて、とてもきれいになりました。区役所でも駐輪場ができてとてもきれいになったし、使いやすくなりましたけれども、これなら、街中もとてもきれいになると思います。

ただ、これにはスペースとか、費用とかがかかりますので、ある程度の限度があるかなという気がいたしまして、それ以外でどのようにしたらいいかといったら、やはり先ほどお話に出ましたようにルールを皆さんに知っていただく、マナーを知っていただくということになるのかなと思うんです。やはりポスターとか、今、田中委員がおっしゃったように講習会というか、講話ということも有効です。

私、昨年、交通安全母の会に参加しておりまして、区にサポートとしていただきながら、私たちは協力しているという形でしたが、警察の方もいらしていただいて、春夏秋冬の交通安全週間に参加しておりました。その会は、メンバーが毎年小学校のお母さん方で、年度で交代します。毎年新しいお母さんが参加していらっしゃいます。その会で交通安全のいろいろな話をしたり、協力したりしていますと、知らぬ間に、交通安全に対する注意と申しましょうか、関心が植えつけられてくるのではないかと思います。私も参加

して、事故を起こしては絶対いけないと思ひまして、安全に自転車に乗るようにしております。

ですから、いろいろなお話ができる場所、場面で反復と申しましようか、なるべく頻度が多いほうがいいかなと思ひますが、お話を伺っていると、知らず知らずのうちに交通安全に関するマナーとかルールが身についてくるのではないかなと思ひます。

ちょっと話が飛んで、四、五年前でしたか、細い道で小学校1年生が数人歩いていました、そこに車がいきなり出てきて、止まっていたんですね。「あなたたち、どちら側を歩くの」と言ったら、「人は右側だよ」ってすぐ答えたんですね。そのように、やはり子どもたちにもそういうルールの徹底というか、周知していくことが必要で、また、場所などを確保する必要のない、費用のかからない方法ではないかなと思ひます。

以上でございます。ありがとうございました。

**梶川委員** 先ほど来、出ておりますチラシを作るといった広報活動。子どもでも、大人でも、分かりやすいと思うようなものを配って、広報活動をするとういと思ひます。私は元住吉に住んでいますが、駐輪場がこのごろ充実してしまして、先ほどおっしゃったように全部機械でガチャンと止まる形のものです。費用は安く、駅周辺の高架下のところは多く設置されていて、そこは100円ぐらい払いますが、信用金庫のところとか、あらゆるところにそういう機械が設置されているので、安心して置きやすく、駅の周辺は放置自転車が少なくなったような気がしております。

もう1つ、以前からお話しておりますが、バスの利用者がバスから降りる際、バスに乗っているうちに歩道をよく見て降りないと、降りたところに自転車がすっと通り抜けて行くことがあって、それがすごく怖いんですよ。バスの中でぐずぐずしていても悪いかなと思ひながらも、バスを利用するようになってからそれをすごく感じます。

あとは委員の皆さんが今までいろいろな御意見をおっしゃっていたので、同様の意見でするので、これで終わります。

**尾木委員** 課題調査部会の皆さんによる「自転車に起因する交通事故」「ルール」「マナー」「環境の未整備」の分別は非常にいいと思ひますし、この資料の中でほとんどの問題は網羅されているのかなと思ひております。今後、区民会議としてどういう形でまとめていったらいいのか、個々のことは別にしまして、どういうスタンスでいったらいいのかと思うわけですが、塚本委員が先ほどおっしゃったように、今までの取組の中で特に効果があったもの、そして、なかなか実効性が上がらないものというようなくくりで現状の取組を洗い直すのも1つの方法かなと思ひておりますし、この後の資料にありますように、各団体も自転車のマナーについてはいろいろな取組をやっているわけでするので、区民会議としては、ぜひ個々にやっている団体さんの活動などにさらに加えて、ある程度、団体さんと協働して効果的に取組を実施し、まとめられるような方向性を持っていく動きがいいのかなと思ひます。もちろん個々に取り組むことも大事ですが、せつかくこれだけ実行力

のある区民会議の委員さんがお集まりいただいているので、取組内容の組合せをもう少し効果的なものにしたほうがいいのかと思っております。ですから、各団体の動きもよく検討して、そして、それぞれ補い合えるところは補っていくとか、区民会議としては少し俯瞰的な視点で見たほうが効果的かなと思っています。

**梅原委員** 個々に課題を見ますと、たくさん取組などがあります。どれに取り組むかということがあって、そうすると、みんなの意見が合わず、なかなか決まらない。やっぱりテーマを絞り込まないと何もできなくなってしまうのではないかと思います。テーマの絞り方とすると、最大公約数をとるといような考え方ですね。中原区の場合、高齢者が増えている、子どもがいる、ハンディキャップのある人がある、あるいは健常者がいる。そうすると、どれに焦点を当てるかという方法がありますよね。そうすると、1人1人にやりたいということがいろいろあるのではないかと思うんです。だから、ここに多くのテーマが出てきているわけです。

例えばボーイスカウトの組織を運営するときに、みんな何をやりたいかというのを全部出してもらおうと、やはりたくさん意見が出てきます。そのときに、幾つかにまとめましょうと限定すると、どういうことをやるかが大体決まるわけです。そうすると、それでは実行委員会をつくらうということで、実行委員長など、各個人の役割を決めるわけです。その人はそのテーマについて一生懸命やるというようにことを大体決めておいて、中核になる人がまとめ役をやり、みんなもそれに協力するというスタイルをとっています。これだけテーマがありますから、やりたいことは人によって違うと思います。そうすると、やはり何人かをまとめて、例えばこれをやる、では、あなたは、これをメインにやってくださいというようなやり方をすると、たくさんことができるのではないかと思います。これをやりたいと言いつ放しになるといつまでも決まりませんから、あなたはこの部分をメインでやってくださいと、それぞれ実行委員長を決定するやり方をとると、たくさんテーマが並行して進むのではないかなという感じがします。これは単なる意見ですから、採用については委員長にお任せしますけれども、そういうやり方をすると、いろいろなことを同時進行で決定することができるのではないかなという感じがします。

**岩崎委員** 自転車のマナーとかルールの徹底について議論に上がっているところで、やはり優先順位をつけて、マナー、ルールの徹底をやっていかないといけないと思ひまして、時間も費用も限りがある中で、私もある程度絞っていく必要があると思っています。ここに書いてある例もあるとおり、保育園であるとか、学校であるとか、そういうところをお願いしてパンフレットを配布していただくとか、駐輪の問題が多い商店街があれば、そこに集中的にパンフレット等を配っていただき、周知していただく。また、自転車置場を多く持っている工場とか会社があれば、そこにもマナーやルールの徹底のパンフレット等を配っていただくとか、ある程度そういう自転車の利用が多いところから、まずはやってみる。地道になるかもしれませんが、そういうところでパンフレット等で周知を図っていく

というところが1つ優先順位づけとしてはあるのかなと思っています。あとは、違法駐輪というのがどこの地区にどのくらいあるのかを把握されていると思いますので、まず、取り組んでいくこととしては、違法駐輪の自転車にパンフレットを入れておくとか、ここはルール違反なんだよというところをきちんと知っていただくというのも含めて、やっていくというのも1つの案かなと思います。

**井上委員** 私の感じたことは、塚本委員からも御意見がありました。既存の自転車対策事業というものがあって、そこはちゃんとお子さんを中心に伝わっているのかなというのにはすごく感じています。ということは、区民会議の中で同じようなことをするというのとは、オリジナリティという点でも欠けるかなと思いますし、強化にはなるとは思いますが、他の面にももう少し目を向けたほうがより広く、区全体のマナーアップにはつながるのかなとは思っています。じゃ、何をやるかというのはさておきですが。

一番は、萩原委員から御意見がありました。みんなに見てもらえるようなことをやっていくことが必要なのではないかというのがあって、それは確かにそうだなと思います。日常にあるもので、自転車というのは特に今チャンスだと思います。自転車自体がすごくブーム、文化になってきていますので、ここでしっかり自転車に関する啓発事業を中原区から発信することができれば、よりよいまちにはなっていくかなと思います。

ただ、目にする機会が、チラシを配っただけで区民全員に伝わるのかといたら、23万部とか刷って、全戸配布とかとやるのだったら、それは結構だと思いますが、正直それでも目につかないということがあると思います。見る人も、見ない人もいるので、例えばイベントをやるというのであれば、それなりに発信してもらえるように新聞社に来ていただくとか、テレビ局に来てもらうとか、記事にしやすい媒体、仕掛けが必要なのではないかなと思います。

これを見たときに「毎月20日を“二輪の日”とするキャンペーンなどの実施」とかいうのがあって、はたと考えたんですけれども、来年、実は川崎フロンターレは創立20周年でして、20とかけて、何かうまいことができないかなと考えてみました。まだアイデアは全然ありませんが、簡単に実現可能なことかというと、このマナーアップポスターに選手を使ってもらおうというのは御協力できるかとは思っています。こういったこともできますので、そうするとより中原らしさとかも出るでしょうし、知名度のある選手であれば見てくれることも多いと思います。先ほど言ったとおり、ポスター上に文字がいっぱい並んでいても、立ちどまって見る人なんか誰もいないわけで、ポスターは歩いているときにぱっと目につくものなので、やはりより分かりやすく作成するという観点からも目の引きやすいものを使って告知していくということと、イベントをやりたいというのであれば、他ではやったことがないような話題になるようなものにして、様々な媒体を使って、発信していくことが必要なのではないかなと感じました。

**石川委員** 先ほど副委員長から報告がございました。素晴らしいですね。実際そのとおり

です。それから、マナーの点からも御意見をおっしゃいましたが、やはり一番重要なのは人間性ですよ。それよりも、先ほど他の委員もおっしゃいましたが、やはり自転車の乗る方もルールを知らなければだめですよ。信号が赤だから行ってはいけない、自転車も軽車両だから左側通行でと、こんなことはみんな知っていますよ。私は、新城で商売をやっていますが、雨が降ると、若いお母さんなどですぐに傘を差したまま自転車を走らせる方がいます。すごく危険です。だから、例えば右に曲がる時は腕をどのように折るとか、左に曲がる時はどのように折るとか、そういうルールを自転車に乗っている方にしっかり理解してもらわないと、これは人ごとではなくて、自分自身が人に迷惑をかけることがあると思います。

私は74歳になりましたが、72歳で免許証は警察にお返ししました。息子から、自分自身では運転は大丈夫と思っているだろうけど、他人に迷惑をかけてはいけないから、お父さん、もう自動車の運転はやめなよ、運転は俺がするからいいよということでお返ししました。今では、365日のうち300日は自転車に乗っています。だから、自転車に乗る方にはルールをしっかり教えないといけないのではないかと私は思います。ルールを知らないから、雨が降ると、すぐに傘を差して運転したり、携帯をかけながら自転車に乗る、そのようなことは非常に危険です。だから、我々も守るべきルールをしっかり何かの印刷物にして、みんなに配ればいいと思います。

**板倉委員長** ありがとうございます。なお、11月11日に第7回課題調査部会がございましたので、副委員長の成田委員、今の皆さんの御意見の中で、何か質問なりアイデアをいただけるようなことがありましたら感想などをお願いします。

**成田副委員長** 今、皆様のいろいろ御意見をいただきました。何しろ審議を進めているほうがこの盛りだくさんの課題や取組案をどうやってまとめていこうかというところです。ただ、皆様から非常に貴重な御意見をいただきました。特に何人かの方に言っていただきましたが、既存の取組として既に実施しているものの未解決のものと、順調に続けてきた中で、さらに新たな問題として出てきたものというのは洗い出してみたいと思います。特に自転車に関しては区民会議が発足しましてから、歴代にわたって必ず区の課題ということでずっと取り上げられていますが、年を重ねるごとに、特に最近ですと、携帯、スマホのマナーというのは、発足当時には恐らく挙がらなかった新たなマナーに関する問題だと思います。特に区でこれだけ自転車についての議論が進んでいるということは、それだけ生活の中に自転車が密着しているということなので、既に自転車に関する対策事業に取り組みまれております諸団体の方々どどのように連携していくかについて検討していかなければなりません。先ほど萩原委員から非常にありがたい御意見をいただきまして、警察や諸団体とどうやって連携をとっていくかという御意見をいただきました。それはノウハウをお持ちになられている委員の皆様の御助力をいただきながら、来月早々ということで時間もありませんが、これを整理して、次の課題調査部会でさらに検討していきたいと思っております。

ので、よろしくお願ひいたします。

**本副委員長** 皆さんから様々な御意見をいただきました。私が考えるに、最終的には、区民会議としては、人手がない、特に具体的な予算もないということであると、個別ではなく、それぞれの活動している団体等とも連携を深め、協力をいただきながら、アイデア等を出して一緒にやっていく。事業についてもできるだけ小さいお子さんからお年寄りまでと一緒に集まる場などで、効果的な活動をする事などについて、課題調査部会でさらに詰めていただければと思ひています。よろしくお願ひいたします。

**板倉委員長** 今までの意見の中で他に何かございますか。よろしいでしょうか。

それでは、時間の都合もござひますので、発言はここまでとさせていただきます。本日の御意見を踏まえて、今後の課題調査部会で審議をしていただければと思ひます。

今後の事務局との調整というのは私に御一任いただきたいと思ひんですが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

**板倉委員長** では、よろしくお願ひいたします。

それでは次に、第5期区民会議スケジュール（案）について、事務局から御説明をお願ひいたします。

**事務局** 今後の区民会議のスケジュールについて御説明いたしますので、資料3をお開きいただければと思ひます。

本日、10月29日に第6回区民会議を開催させていただいておまして、11月11日（水）に第7回課題調査部会、12月2日（水）に第8回課題調査部会を行いまして、本日御議論いただきました内容をさらに深めていただきたいと存じます。その議論を踏まえまして、第6回運営部会を12月中下旬に開催し、さらに、来年1月に第7回区民会議を開催する予定でございます。また、第7回運営部会を2月に行い、3月の第8回区民会議をもって最終的な取りまとめをしていただくことになっております。その後、4月に区長宛て報告していただきまして、5月に市民報告会の開催を予定しております。以上でございます。

### （3）平成26年度地域課題対応事業実施結果について

**板倉委員長** 続きまして、平成26年度地域課題対応事業実施結果について、事務局から御説明をお願ひします。

**事務局** では、引き続きまして御説明させていただきます。

資料4、「平成26年度『中原区地域課題対応事業』実施結果一覧表」を御覧ください。こちらは、昨年度実施しました地域課題対応事業の一覧でございます。

まず、「I 安全・安心まちづくり事業」でございますけれども、先ほども、中原区では自転車に関する取組を進めてきたという御意見などがございましたが、4番、「自転車と共生するまちづくり事業」は、自転車と共生するまちづくり委員会と一緒に進めている事

業で、自転車利用のマナーアップ等の啓発活動を行うものでございます。5番、「中原区放置自転車対策事業」につきましても、放置自転車の撤去や、さらにはマナー・モラルの向上を目指すためにいろいろな啓発物を作成する事業です。また、7番、「交通安全教室開催事業」にも自転車に関する取組が含まれておりまして、既に御説明のありましたスクエアドストレート方式の交通安全教室を、中学生、高校生向けに各1回、実施したものでございます。各自転車対策等を様々な形式で事業実施しております。

「Ⅱ 地域福祉・健康づくり事業」について、主な事業ですが、1番の「橋わたしによる地域福祉の活性化事業」です。こちらは、中原区地域福祉計画に基づいて地域福祉の普及啓発等のためのワークショップを開催するものでございます。また、マップ等をつくり、地域交流の情報発信等を行ってございます。

続きまして、「Ⅲ 総合的な子ども支援事業」でございます。こちらは、例えば「5 中原区子ども支援ネットワーク事業」につきましては、昨年度途中からですが、新たに小学校との連携により、こども文化センター2館で昔遊びに接する機会の創出を図るなど、新たな事業に取り組んでいるところでございます。また、11番、「中原区親子健康づくり・仲間づくり事業」として、「なかはら親子体操『ミミケロはっぴいダンス!』」をコンサート等のイベントや子育て支援施設を通じて広く啓発を行ったものでございます。

続きまして、「Ⅳ 環境まちづくり事業」でございます。2番の「環境まちづくり支援事業」については、身近な環境について学ぶ「エコカフェ」というイベントを開催したところでございます。

裏面を御覧ください。「Ⅴ 地域資源活用事業」でございます。こちらは、新規事業として10番「スポーツを通じた地域活性化推進事業」の中で、説明資料の1行目の中盤あたりになりますが、NECレッドロケッツと連携したバレーボールふれあい教室を平成26年度から開催しているところでございます。

また、「Ⅵ 地域コミュニティ活性化推進事業」でございますが、5番目の「商店街と連携した地域のまちづくり推進事業」につきましては、商店街等でフラワーアレンジメント教室や、料理などを題材とした教室を計8回実施するなど取組を進めたところでございます。また、7番、「小杉駅周辺の新たな魅力づくり推進事業」といたしまして、武蔵小杉駅周辺地域連携推進会議を開催いたしまして取組を進めた他、また、なかはらメディアネットワークを活用して、区の新たな魅力を発信したところでございます。

また、「Ⅷ 区の新たな課題即応事業」は平成26年度に新設されたものでして、26年度におきましては、区の木「モモ」の制定など、年度当初、計画的な事業について対応を図ったところでございます。

以上で説明を終わります。よろしくお願いたします。

**板倉委員長** ただいまの説明に、御意見、御質問ございますか。内容がたくさんあるので、御質問しづらい点もあるかと思っておりますけれども。

**梅原委員** 交通安全協議会とか交通安全母の会、いろいろな団体が取り組んでいるんですね。私も参加したことがあります。今のテーマの交通安全に関する取組事項が多く出ているので、そういう団体とダブらないようなことを考えなければいけないので、やはり区民会議として特徴のある課題や取組事項を提示する必要があるのではないかなど、ふと思いました。

**板倉委員長** 区民会議の取組の実施に関する予算はありませんが、区の予算を見ると他の事業の予算はあるといった、何とも言いがたいところがあるかと思います。何か他にございますか。

#### (4) 取組事項の進捗状況について

**板倉委員長** それでは、今期の1つ目のテーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」についていろいろ実施してきたものや今後実施予定のものなど、それぞれございますが、ここで、長尾委員、井上委員、萩原委員の各委員から説明をさせていただきます。

まず、長尾委員から、「中原区版 仕分けの達人ゲームの制作と活用」という提案で「等々力ピカ美化大作戦!! ～スタジアムをキレイにするのは君だ～」の内容について御説明いただきたいと思います。

**長尾委員** 「中原区版 仕分けの達人ゲームの制作と活用」の取組事項ということで、10月18日(日)、等々力緑地でなかはら“ゆめ”区民祭の会場で行われました。川崎フロンターレ中原アシストクラブ参加〔専修大学インターンシップ〕の学生さんによる企画・運営の「フロンターレを活用してまちおこし」事業の協力で、主に小学生対象としたごみの分別ゲームを実施いたしまして、私も当日お手伝いさせていただきました。ルールは簡単で、ワルンタくんがスタジアムに散らかしたごみを分別して片づけるという設定で、受付でごみの分別表をもらいまして、スタジアムに見立てた場所に行きまして、スタジアム内のごみの絵のカードを3枚拾って、ジャッジのところに持って行き分別する、正しくできたら景品と交換できるカードがもらえるので、最後に景品と引き替えて終了というゲームを実施しました。景品として400枚以上フロンターレの選手のトレーディングカードが用意されていまして、他に220個の缶バッジも用意されていましたが、お客さんが大変多くて、15時までの実施予定が、14時過ぎ頃には景品が全部なくなってしまいました。たくさんの方の親子の方に楽しんでいただきました。対象は一応小学生ということでしたが、もっと小さいお子さんにも参加していただき、それに伴って親御さんですとか、とてもいいお天気だったので、おじいちゃん、おばあちゃんも一緒にいらして、家族みんなでゲームに参加していただくことができました。

結果的には、幅広い世代の方にごみの分別についてお祭りの場で体験していただくことができました。とてもよかったのではないかと思います。本当にこの会議で話し合ったことが成果として目の前で見られまして、私も大変嬉しく感じました。

**板倉委員長** それでは続きまして、「人形劇による美化・リサイクルの啓発」ということで、井上委員から御報告をお願いいたします。

**井上委員** この事業は、川崎フロンターレ中原アシストクラブと中原区役所で協働して、中原区内の全保育園に通う年長の子どもたちを対象に、ごみの分別・リサイクルを伝えようということで10月20日（火）から始まり、既に3回、中原市民館で行っていきまして、1回に来る園が大体10園ぐらい、人数が大体100名から200名ということで集まっていたいております。この事業に関しては、現在、子どもたちが笑いながら、すごく楽しく見ている点から言うと、とても成功しているのかなと感じています。実際に自宅に帰ってから本当に覚えているのかということに関しては、アンケートをとっているところなので、これから分かるかと思えます。また、人形劇を見た子どもたちには全員ミックスペーパーとプラスチックの分別が分かるマグネットをプレゼントして、家庭でもそれを冷蔵庫などに張りつけて参考にしてもらいたいということで、それもあるべく親しみが持てるようにと川崎フロンターレのマスコットの“ふろん太”や、“かわるん”という3R推進事業のキャラクターなどを入れて、お渡ししています。

先ほど申し上げたアンケートに関しては、なかなか答えていただくのが難しいというのが中原アシストクラブからも出ていたので、そこは川崎フロンターレに協力してもらって、アンケートに答えていただいた方には川崎フロンターレの来年のホームゲームに御招待しますといった特典を付してアンケートを行っています。昨年度の人形劇に対するアンケート回答数が100を超えていたので、しっかりフィードバックをする意味でも、効果を次の区民会議などに御報告できればと思います。

**板倉委員長** 続きまして、これからの活動ですが、「きれいなまちづくり活動の推進」ということで、萩原委員から御説明をお願いいたします。

**萩原委員** 取組事項の1つとして、以前アンケートを実施したわけですが、日頃、コミュニティ活動の一環や、ボランティアとして清掃に取り組んでいる団体やグループが多くあることは分かりましたので、実際に本当に一斉にお掃除してみようということで、11月7日（土）午前8時半から9時半までの清掃活動を計画しております。別添のチラシを作りまして、裏面をファクスによるエントリー形式にしておりますが、お店や自宅、企業、商店の周りでもいいですし、あるいはこすぎコアパークに来られる方は午前8時半にいらしてくださいということをお知らせし、参加者の募集をしております。

最終的には来年5月の区民会議市民報告会の際に何かの形で、例えば区のマップの中で、これだけ輪が広がって、いろいろなところで一斉に清掃したということが目視できればいいかなと。1回参加してみると、一体感もあって、まちがこれだけきれいになると、ある箇所が汚くて困ったねと普段から気がつくようになります。その気づきのきっかけになるためにもとてもいいことだと思って、これを実現させたいと思っております。

また、毎月第1土曜日午前8時からNPO法人小杉駅周辺エリアマネジメントで取り組

んでいらっしゃる武蔵小杉駅の周辺の清掃活動が大変立派でして、この活動と今回の清掃活動をコラボして実施させていただくわけですが、現在も多くの子どもたちと親御さん等、周辺のマンションにお住まいの方々が60人ぐらい参加されて活動しています。いつも本当に一生懸命していただいているこの活動を知っていただいて、この後、小杉ではこういうことをやっているんだ、自分たちも一緒に参加しようという方が増えたらいいなとも思っていて、今回の第1土曜日ということになりました。

最初のうちは企業に声を掛けた際に、参加したいとおっしゃっていただきましたが、実際に、例えば銀行が土曜日に人を出してやるかということ、やはり難しいのではということもあり、私も頼みづらくなりまして、区役所と再度検討させていただきました。土曜日が定休日だったり、工場が休みだったりすると少し無理もあることなので、どうしても土曜日が難しければ、前日や周辺の日でも、とにかく11月7日前後で中原区内をぴかぴかにできればいいということで、現在、お声掛けをしています。中原工場協会では300社ぐらいに全部郵送させていただき、私もロータリークラブやライオンズクラブを回っておりまして、昨日も川崎フロンターレの社長様、会長様のいらっしゃるクラブに伺いまして、川崎フロンターレ中原アシストクラブさんも御協力いただいて「等々力ピカ美化大作戦」に取り組んでいただきましたので、皆さまによろしくとお願いしたところ、ファクスで報告しますとおっしゃっていただきました。実際に報告していただけるかは不明ですので、ここにいらっしゃる方々が頼りです。1人30枚か40枚、直接頼まれると、ああ、そうなのとやってくることもありますので、ぜひ人ごとと思わずに、区民会議の力を見せていただきたいと思っております。1回でも参加すれば、ああ、こういうところにごみが散らかっているんだとか、たばこのポイ捨てでこれだけ大変なんだとか、落書きもひどいとか、いろいろ気がつくものだと思いますので、ぜひこの輪をつなげていきたいなと思っております。

以上です。よろしくお願ひします。

**梶川委員** すみません。この日のことに関してですが、ほうきとか持っていきますか。文化協会の方にも何人か一緒に参加していただくようお願いしてありまして。持ち物は何を持っていけばよろしいでしょうか。ビニール袋とか。

**萩原委員** 一応はごみ袋など用意していますので、もし何かお持ちだったら、それはそれでありがたいです。トングだったり、軍手だったり、用意しますけれども、どのぐらい人数が集まるかわからないので、もし足りなかったらということもございますし。

**梶川委員** 余り大きなほうきとかって持っていけないから、軍手とかでよろしいですね。

**萩原委員** すごくありがたいです。ほうきまでは人数分なんかとてもないので、もしあればありがたいと思っております。

**梶川委員** わかりました。

**萩原委員** よろしくお願ひします。ありがとうございます。

**板倉委員長** 御協力をよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

ただいまの説明に何か御意見とか御質問ございますか。

**松本委員** 1つ目のテーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」に関連してですが、10月18日は区民祭で等々力ピカ美化大作戦ということで、フロンターレ中原アシストクラブ、井上委員、専修大学の学生さんの御尽力によって、先ほど長尾委員の御報告にございましたが、確かに盛り上がり、お子さん、お父さん、お母さん、外国人の方ということで、非常に人数も多くて、開催できました。それに関連してなんですけど、今度は高齢者、老人の形ということで、住吉地区社会福祉協議会では、ひとり暮らしの方の会食会を9月9日に西加瀬いこいの家で開催しました。そのときに中原区生活環境事業所の指導のもとに、ごみの分別という話を食事の後にしていただきまして、いろいろと理解できたということです。今度は11月11日、井田いこいの家で同じように中原生環の指導のもとに会食会にお見えになるひとり暮らしの方、関係者の方含めて大体110人ぐらいになると思うんですが、開催を予定しておりますので、一応関連事項として御報告しておきます。よろしくお願ひします。

**板倉委員長** 以上で本日予定しておりました議事は全て終了いたしました。

皆様からほかに何かございますか。

**塚本委員** 会計の話が少しよく分からなかったもので、恐らく今までの資料に載っていたのかもしれませんが、こういった各イベントをやりましたといったときに、会計報告というものはありませんが、これは基本的に区民会議が市民主導の運営だからなのか、区の予算は基本的に使っていないということで進んでいるという認識なんでしょうか。その辺、聞いていいものかよろしいですか。何か運営部会とか課題調査部会で決めて具体的な取組をやっていこうとすると、予算はないとのこと。いたずらに税金を使ってはいけないのは当然ですけども、何にも使えなかったらチラシ1枚印刷できませんと言われると、それでは、何ができるのかということにもなるので、どういうものなら予算立てできるといった決まりなどがあるのか、そもそもないのかとか確認できればしたいなと思います。

**事務局** 予算のお話ですけども、例えばお配りしました「なかはら一斉クリーンアップ大作戦」のチラシについては、額は数万円ほどかかっておりまして、これは、当初予定していなかった予算を後から確保して印刷しました。また、先ほど御報告いただいた人形劇については、区の市民提案事業という制度に昨年度提案していただいたものですので、その枠の中で当初から予定されていた事業として実施しております。それでは、区民会議に関する予算額につきましてどのような内容となっているのかと申しますと、委員の皆様への報酬ですとか、コンサルタントの費用、会議録作成に係る速記の費用など、基本的には区民会議の運営経費として、当初から想定し確保しなければならない内容となっておりますので、何か関係する事業をやるということになりますと、どこかから探してきて、確保することが必要となります。

例えば、現時点より少し前の時期に、来年度このような事業を実施しようということがある程度決まっていれば予算要求をするということも考えられます。また、先ほど御説明の中にございましたけれども、現在、区の新たな課題即応事業費という、例えば年度途中でこういう事業などをやるとなったときに、区の裁量で使える予算として500万円措置されていますので、実際に何かやることが必要だということになれば、御提案いただいた上で実施可能な事業であれば、緊急的に対応することは可能です。

**塚本委員** 最終的に誰がどう決定するというということは、区民会議の中で承認されるものなのか、区で承認されるものなのか、予算を出す決定は誰がするものですか。

**事務局** 区の予算ですので、最終的に区役所による決定となります。区民会議で提案いただいたことについて、区の中で決定の手続をしていくという形になると思います。

**塚本委員** 分かりました。

## 5 その他

### (1) なかはら区民会議だより第25号について

### (2) 平成27年度区民会議交流会について

**板倉委員長** それではここで、区民会議参与の皆様一言いただきたいと思います。本日お気づきの点など、御助言をいただければと思います。

**押本参与** 長時間にわたる議論、ありがとうございます。今後の集約に当たっては重要な視点が2つあるかなと思っております。

皆様の意見の中でもあったかなと思いますけれども、まず、自転車とか、商店街、ベビーカーなど、いろいろ経過報告の中にありますが、誰かが悪いというような議論は避けたほうがいいかなと思います。多くの皆様が共感を持てるような事業に取り組んでいただきたいなと思っております。

もう1点、塚本委員からもありましたけれども、中原区は様々な変遷を受けているわけですし、なぜ今、中原区区民会議がやるのか、特に旬なものに取り組んでいただけたらなと思います。また、他の事業に重なっている部分もあると思いますので、整理しながら、ぜひとも区民会議だからできることに取り組んでもらえたらなと思います。

また、話は変わりますが、我々議員もかなり宿題をいただいたのかなと思います。経過報告の課題を見ても多岐にわたって、特に本日は自転車の話題がいろいろ上がりましたけれども、課題があるのかなと。特に他都市の先進事例なんかを見ますと、堺市なども自転車のまちづくり推進条例をつくって、マナーなどについても規定しているような条例もありますし、また、この中であります自転車安全運転者証は福岡県福岡市でもやっているような取組があります。ぜひ先進事例を学びながら、我々議会の中でも発信ができればなと思っておりますので、本日は本当に勉強させていただいたなという思いです。

1日ありがとうございました。

**重富参与** 本日は教育委員会関連の会議が重なっておりまして、午後3時少し過ぎたぐらいに到着してしまったので、申し訳ありません。特に意見等はございませんが、自転車に関しては私もこの間、議会で質問しましたが、私が議会で質問する内容と、拝見させていただいた課題調査部会で話されている内容って、全く違うんですね。そう考えると、議員が市政を考える、区政を考えるのと同時に、やはり区民の方に考えていただくことはさまざまな視点が折り重なって、まちづくりがうまく行われるきっかけになるんだろうなと思っております。ぜひ、また議論を聞かせていただければと思います。ありがとうございます。

**吉岡参与** こんにちは。少し遅くなりまして、大変申し訳ありません。

本日は、様々な議論を聞かせていただきました。また、議事録も拝見しまして、大変興味深い視点などと申し上げるのは、委員の皆様方を前にして大変失礼かもしれませんが、なるほどという視点で議論をされているなと思っております。こうした議論がさらに重なって、新しい川崎を発信できるような取組が生まれてくればと思っております。

本日は遅れまして大変申し訳ございませんでした。私からは以上でございます。

**君嶋参与** 県議会議員の君嶋です。皆さん、どうもお疲れさまです。4月以降ずっと議会が重なったりしまして、私自身、区民会議に参加させていただいたのは本日が初めてです。なるほど、こういう状況かと区民会議の様子をある程度理解することができました。

伺いながら私が思ったことは、この区民会議の中でお金のことも含めてできること、すべきこと、また、他の機関に要請すべきこと。例えば市ですとか、県ですとか、国ですとかに要望すべきことをもっと明確に分けて議論してもいいのかなと思いました。1回だけですので、ちょっとまだはっきりしたことは言えませんが、この中だけでまとめようと思うと、やることがすごく限られてしまうのかなと思いますので、一番身近な市民の方、区民の方の意見、声が反映される場所として、権限とかお金で区内では無理であっても、外に対して要望することなどももっとなされてもいいのかなと思いました。

本日はどうもお疲れさまでした。ありがとうございます。

**板倉委員長** ただいまの御意見については、今後の区民会議の運営に反映させていただきたいと思っております。

その他、事務局から資料の説明をお願いします。

**事務局** それでは、本日お手元に御用意をしております参考資料と併せて、次回の区民会議の日程について御説明をさせていただきたいと存じます。

まず、参考資料4「なかはら区民会議だより第25号」を御用意させていただいております。先ほど1つ目のテーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」の具体的な取組につきまして、委員の皆様から御紹介をいただきましたけれども、そういった取組につきまして、今回の区民会議だよりでは掲載させていただきました。

1 ページ目で、「等々カピカ美化大作戦!!」 や「人形劇で美化・リサイクルを学ぶ」

を、また、「なかはら一斉クリーンアップ大作戦」について御紹介をさせていただいております。

おめぐりいただきまして、見開きで2ページ目には「なかはら一斉クリーンアップ大作戦!!」について、エントリー方法も含めて、御紹介をさせていただいておりますので御協力をお願いしたいと存じます。

3ページ目では、2つ目の審議テーマということで本日も皆様に御議論いただきましたけれども、「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」について、これまで課題調査部会等で審議をしてきた内容について御紹介させていただいております。

4ページ目について、上段には「『課題解決に向けた取組提案』審議中」ということで御紹介をさせていただいております。また、中段では、新しく委員に就任いただいた岩崎委員の御紹介をさせていただいております。「なかはら区民会議だより第25号」につきましては、町内会の回覧等で皆様には御周知をさせていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

次に、参考資料5「平成27年度区民会議交流会の開催について（案）」でございますが、この交流会につきましては、毎年度、中原区の区民会議だけではなく、川崎市全区に区民会議がございますので、全区の区民会議の委員の皆様との交流を目的に開催させていただいているものでございます。今年度も開催の予定がございまして、お示ししておりますとおり、時期は来年、平成28年2月3日（水）になります。午後6時から、場所はエポックなかはらを予定しております。前回と同じ開催会場になりますので、前回御出席いただいた方はお分かりいただけるかと存じます。会の具体的な内容につきましてはまだ決定しておりませんが、これまで同様、区民会議委員同士の交流を行うことから、各区の委員で構成されたグループに参加していただき、意見交換をしていただく予定です。

次のページに参加確認票を御用意しております。2月3日（水）午後6時からの交流会と、懇親会も含めまして午後8時半以降もございまして、御予定がもしお分かりになるようであれば、本日、この場で御記入いただいて、席に置いてお帰りいただければ、後ほど事務局で回収をさせていただきたいと存じます。併せて、後日、事務局から通知をさせていただきます。恐れ入りますが、概ね1週間程度で御回答いただければと存じますので、本日御予定の分からない方につきましては、後ほどの御回答をお願いしたいと存じます。

また、開催期日が近くなりましたら、具体的な内容をお知らせするとともに、出欠の最終確認を別途させていただく予定でございますので、本日の回答が最終の回答ではございませんので、後日、最終回答をお願いしたいと考えております。参考資料の御案内については以上でございます。

最後に、次回、第7回区民会議の開催予定となる日程につきまして御紹介させていただ

きます。

資料3を御覧いただきまして、第7回区民会議の日程を御確認いただければと存じます。次回の第7回区民会議につきましては、お示ししておりますとおり、年明けの1月22日（金）と25日（月）、26日（火）、28日（木）、29日（金）のいずれかの日で開催をさせていただきたいと考えております。概ね午後2時から4時までと考えております。こちらにもまた、後日日程調整をさせていただきたいと存じますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

事務局からは以上でございます。

## 6 閉会

**板倉委員長** 皆様の御協力をいただきまして、珍しくというか、初めて時間内に終了することができました。副委員長ともども深く感謝をいたします。

これで第6回中原区区民会議を閉会いたします。ありがとうございました。

午後3時53分 閉 会